

第4回 博多と福岡を結ぶ 国体道路の空間利活用検討会

第3回検討会の意見と対応

令和3年 7月

1. 国体道路の短期対策の方向性・春吉橋の景観検討に関する意見と対応

項目	委員の意見	事務局対応
短期対策案について	<ul style="list-style-type: none"> ・矢羽根を設置でよいが、幅1mは狭く感じるので少しでも広げて欲しい。 ・植栽帯は撤去を希望。将来的には自転車通行帯が理想である。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 矢羽根は極力広くとれるように検討したい。 ● 短期対策として植栽帯を見直す方針である。自転車通行帯は長期対策として検討を進める。
国体道路の今後の方向性について	<ul style="list-style-type: none"> ・長期対策の検討は、今後どのように進めるのか。 ・小型モビリティが普及していくなかで対応を考えていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 車線数を削減し、歩道空間や自転車走行空間に再配分すること等考えられる。周辺道路の交通状況や地下鉄七隈線延伸後の交通状況などを踏まえながら、別途協議会を立ち上げ、検討を進めたい。 ● 新たな小型モビリティの取扱いについては、現在、警察庁にて検討が行われている。
柵・高欄について	<ul style="list-style-type: none"> ・トURREールを手で触れやすくする必要はあるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● トURREールに手や肘を置きながら川の景色や夜景等を楽しんでいただくため、馴染みやすさを考慮した形状とした。
照明について	<ul style="list-style-type: none"> ・景観照明は高欄の内側だけでなく、外側も照らすことは出来ないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 内側にのみ照明を設置することで、鋳鉄製の風合いを引き出すグラデーション等により、品格があり、光の抑揚のある温かい雰囲気をつくり出せると考えている。
歩道(舗装)について	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道部分と賑わい空間の部分で色が分かれなように進めてほしい。色が分けると空間が狭く感じるので、歩道と広場の色を同じ系統の色で統一した方がよい。 ・周辺店舗の入れ替わりを想定し、グレー系の色調に統一する考え方はよい。 ・品格や落ち着きがコンセプトで、グレー系を基調としたデザインの考え方に異論はない。 ・ブロック舗装は変色や割れることがなく、また滑りにくいタイプのものとして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 賑わい空間は、提言に基づいて福岡市が検討を進める。事務局案は、歩道をダークグレー、賑わい空間をグレーと同じ系統だが色を変えることで管理境を明示するようにし、歩道のダークグレーをスリット状で賑わい空間側に延ばすことで橋上空間の一体性を高めるデザインとしている。 ● グレー系を基本に検討を進めたい。 ● 利用者が躓いたり滑ったりしないような材質を使用するように検討する。

2. 春吉橋賑わい空間に関する意見と対応

項目	委員の意見	事務局対応
回遊について	<ul style="list-style-type: none"> ・天神から春吉橋を渡り、清流公園、キャナルシティへと向かう流動に対して重点的に計画を進めて欲しい。 ・夜は屋台、昼は春吉橋と清流公園を一体とした清潔感を持った形で整備を進めていくことで集客につながるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 周辺への回遊促進には、「周辺との一体性・連動性」が重要と考えている。 ● 安定した集客を図るためには、休日だけでなく、平日の昼間など、年間を通じたプランニングが必要となると考えている。
運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・運営面において、エリアマネジメントをどのように実施するかの観点が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 賑わい空間の運用手法については、提言を踏まえて、今後福岡市が検討を進める。
周辺飲食店について	<ul style="list-style-type: none"> ・春吉橋に賑わい空間を創出することによって、近隣の屋台や中洲の飲食店と客の取り合いが発生する懸念がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 提言書(案)に示すとおり、「地域との共存・共栄」は重要と考えており、今後、地域との連携・調整を図っていきたい。
イベントについて	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント用のインフラ設備は、出店者にも負担させるべき。全体の出店数を考えて、必要設備を検討するべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後、福岡市が民間企業の募集に向けた公募条件(官民役割分担)の中で検討を進める。
	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で飲食店が疲弊している中で、イベントを通じて地域に活力が戻ることを望む。 ・中洲地区は夜の賑わいはあるが、昼間にも賑わいが生まれることで近隣地域へ相乗効果を期待している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安定した集客を図るためには、休日だけでなく、平日の昼間など、年間を通じたプランニングが必要となると考えている
	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント等が開催されない期間に地域が利用することは可能か。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日常的に市民が利用できる空間としたいので、活用方法も含め今後の検討事項と考えている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・広告に関しては、景観を阻害するような過剰なものにならないよう配慮すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 広告については、福岡市が屋外広告物に関する市の条例等を踏まえながら、検討を進める。
	<ul style="list-style-type: none"> ・河川法や道路法などの制約条件には気をつけて頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本検討会では制約条件の整理は実施していないが、今後福岡市が検討を進める中で精査を行う。